

別紙

■田村きのこ園について

茨城県笠間市福原地区。山々に囲まれ湧水が豊富なこの地で65年以上にわたり椎茸を栽培しています。2019年冬、当時地域おこし協力隊だった現・二代目川島が田村きのこ園と出会い、椎茸の味に感動し、弟子入りを志願。先代の想いや技術を受け継ぎながら、新たな販売方法や発信方法を強化し、福王しいたけを後世に残そうとしています。2022年に先代田村から事業を継承し、新たな田村きのこ園として再び歩み始めました。

■第三者継承について

学生時代から独立就農を目指していた現・二代目川島。卒業後は一旦金融機関の農業部門に就職し、農業経営について学びながら就農準備していました。

その後、笠間市の地域おこし協力隊に応募し、農業振興活動にあたる中で福王しいたけに出会い、そのおいしさに感動。「このままでは、地域の宝が失われてしまう」と感じた川島は弟子入りしました。先代の田村仁久郎の入院を機に信頼関係を深め、川島の「福王しいたけ」の栽培技術を残したい思いを先代が受け入れて話が進んでいきました。

第三者継承を円滑に進めるためには、譲る側と譲られる側、双方の信頼関係の構築が重要で、先代の懐の深さがあったからこそ実現できたと川島は話します。川島がきのこ園経営を引き継いでから1年2か月後の2023年6月、先代が急逝。これからは自分で考えて、この福王しいたけを必ず未来につないでいかなければと、さらに強く決意を固めています。



■福王しいたけについて

「福王しいたけ」は美味しさを求めて研究を重ね続けて作られた椎茸です。独自の菌床で通常の倍の期間をかけて栽培した椎茸は大きさも去ることながら、その美味しさに感動する一品です。福王しいたけは、地元の人から愛されているだけでなく、ネット販売では完売が続いています。ホテルやレストラン等でも取り扱われ、プロの間でも品質と味が広く認められています。